

授業科目 理学療法基礎評価学 II

【担当教員名】 高橋 英明、齋藤 慧 他		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 理学療法の臨床において、検査測定評価の「思考」や「技術」は、対象者に実施する個別の治療方針や枠組みを決定するために用いられる。この授業科目では、各種検査測定法の手順を修得し、評価全体の流れを修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経系検査、関節可動域測定の手順に慣れる 2. 検査・測定からの結果を説明する 3. 各検査・測定結果を解釈し、統合し説明する 4. 医療記録を模倣する 5. 学生間で学びあいながら主体的学習活動に取り組む 6. 医療面接を実施する 					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1. 2	理学療法評価の展開（1）	2. 5. 6	講義および演習：医療面接、情報収集		
3. 4	関節可動域測定（1）	1. 2. 5	講義および演習：ROM（上肢）		
5. 6	関節可動域測定（1）	1. 2. 5	講義および演習：ROM（上肢）		
7. 8	関節可動域測定（1）	1. 2. 5	講義および演習：ROM（下肢）		
9. 10	関節可動域測定（1）	1. 2. 5	講義および演習：ROM（下肢）		
11. 12	関節可動域測定（2）	1. 2. 5	講義および演習：ROM（体幹）		
13. 14	神経系検査（1）	1. 2. 5	講義および演習：感覚検査、反射検査、疼痛		
15. 16	神経系検査（2）	1. 2. 5	講義および演習：バランス検査		
17. 18	神経系検査（3）	1. 2. 5	講義および演習：脳神経検査		
19. 20	神経系検査（4）	1. 2. 5	講義および演習：片麻痺機能検査		
21. 22	基本動作分析、歩行分析	2. 5	講義および演習：健常者の基本動作と歩行の理解と実際の動作分析		
23. 24	理学療法評価の展開（2）	2. 3	講義および演習：統合と解釈、評価の手順と過程、評価の展開、問題点の抽出		
25. 26	理学療法評価の展開（2）	2. 3	講義および演習：リハビリテーション実施計画書、説明と同意、症例報告の書き方		
27. 28	カルテからの情報収集と記載方法	2. 3. 4	講義および演習：臨床検査データの確認、画像所見の確認、カルテの記載方法		
29. 30	症例報告の実際	2. 3. 4. 5	講義および演習：モデルケースの提示		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	DVD シリーズ PT・OTのための測定評価1：ROM測定 第2版	福田 修、伊藤 俊一、星 文彦	三輪書店		2010・3,990円＋税
	病気がみえる vol 7 脳・神経	尾上 尚志 他	メディックメディア		2012・3,800円＋税
	理学療法評価学テキスト	細田 多穂、星 文彦、伊藤 俊一 他	南江堂		2010・5,700円＋税
参考書	リハビリテーションリスク管理ハンドブック	亀田メディカルセンター	メジカルビュー社		2008・4,200円＋税
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験（約90%）および出席状況（約10%）の総合点で評価する。 ただし、実技試験が合格基準（60%）に到達することが当科目の単位取得のために必要である。 当科目は筆記試験を実施したのちに実技試験を実施する。実技試験を受験するためには筆記試験に合格することが必要である。		【履修上の留意点】 実技や検査測定（触診も含む）の実施に適切な服装で参加してください。			